

第11回九州地区高専冬季体育大会

報告記

有明高専だより

昭和50年2月15日

第11回冬季体育大会は昨秋十一月二十三日から三日間大分市営ラグビー場で開催された。主将山部が抽籤に出る。一回戦不戦勝、そして二十四日、二回戦で都城を退けた久留米と準決勝を争うことになった。

緒戦は有明のベース、しかし時間の経過とともに久留米の地方に

争うことになった。

主将幾田以下、心を新たに毎日の練習に励んでいる。

新たな練習に励んでいる。

諸々の御声援に感謝しつ。

(品川記)

圧倒され、40-10というスコアで敗戦の苦杯を飲んだ。

新チームに課題は多いが、基礎練習の繰返しが将来を開くこと

を再確認し、主将幾田以下、心を

新たに毎日の練習に励んでいる。

（品川記）

金体として音がきれいになつているようだ。毎年すこしづつあるが水準は上がつてきているので

ある。

司会の境さんのハリのある澄

だ声は会の雰囲気を緊張した充実感のあるものとした。司会は始め

からステージに出る方がよい。

最後に、学校の音楽活動において高度の技術は年々向上している

とはいえばにはかなわない。大

切なことは厳しい自己抑制と知性

である。これらのことを忘れるな

らば本校の音楽活動は無意味なも

のとなつてしまふ。今回の定演に

おいて学生らしい知性を私は十分

感じることができた。しかし自己抑制という点については、各人の反省を必要とする。

第一部、西原君のきびきびした

態度は見ていて気持ちがよい。「スラブ行進曲」は難曲だったとは思う

が破綻をきたすことなくよくここまで出来たものだと思う。

第二部では前座にリコーダー演奏があつた。パロックの音楽、パーセル、ヘンデル、バッハなどの音楽が聞けたのは楽しかった。穴

少しこれがいい。元気がない。

第三部 急に元気が出てきたと

いう感じもする。どうしていわゆ

たいと思います。

第三部 急に元気が出てきたと
いう感じもする。どうしていわゆ
たいと思います。

演奏曲目

第一部 指揮 西原克之

第二部 指揮 西原克之

第三部 指揮 西原克之

寮長 森 和男

准優勝 養老院(下宿生)

(紅葉二階)

敢闘賞 ガキデカ(銀杏二階)

得点王 大田昭典(M3)

ハッスル賞 川村忠生(M5)

李昌洋一(E5)

スラブ行進曲 P・チャイコフスキ

銃声 K・J・アルフォード

C・タイケ

行進曲「乾杯の時」 兼田 敏

行進曲「旧友」 C・タイケ

J・シュトラウス

J・シユトラウス

ラグビーチャンピオンズ J・シユトラウス

マーチ K・J・アルフォード

行進曲「乾杯の時」 兼田 敏

行進曲「旧友」 C・タイケ

J・シユトラウス

第三部 指揮 畑野謙二

第二部 指揮 六山健

第一回 有明高専吹奏楽部定期演奏会



第三部 急に元気が出てきたと
いう感じもする。どうしていわゆ
たいと思います。

第三部 指揮 西原克之

</